

濤沸湖

すばらしい自然を未来に

濤沸湖は、ガン・カモ類やシギ・チドリ類が訪れる、北海道でも有数の水鳥の渡来地で、タンチョウやオジロワシなどの希少な生きものの繁殖地にもなっています。また、湖岸や後背の湿生草原では、ヒオウギアヤメやアッケシソウなどの美しい野草が観察できます。このような豊かな自然環境を背景として、濤沸湖はラムサール条約湿地に登録されています。

「保全と利用のためのルール」作成の経緯

濤沸湖は、道東地域における観光ポテンシャルの高い地域で、国内外からの旅行者の増加も見込まれています。

今後、自然の営みを無視した利用が多くなると、自然環境は劣化し、濤沸湖の魅力は低下してしまいます。さらに、漁業や農業、地域の方々とも調整が図れなくなる可能性があります。

こうした事情を背景として、様々な分野の方がワークショップや検討会を通して意見を交換し、知恵を出し合い、『濤沸湖 保全と利用のためのルール』をまとめました。

濤沸湖エコツーリズム推進協議会



濤沸湖エコツーリズム推進協議会は、地域住民、水産業や農業、観光業などの各種産業に従事している方、地域の生きものに精通した専門家などで構成され、網走市及び小清水町が事務局となって運営するものです。

『濤沸湖 保全と利用のためのルール』の管理運営をするとともに、濤沸湖のエコツーリズムを広く普及していくための継続的な取り組みを推進していきます。また、地域の方々や利用者等の意見を取り込みつつ、定期的にルールの見直しをはかります。

濤沸湖水鳥・湿地センター



濤沸湖水鳥・湿地センターは、ラムサール条約の理念に基づき、濤沸湖の環境学習や保全活動の拠点となる施設として、平成24年に開館しました。濤沸湖の素晴らしさを伝えるために、自然や文化、歴史などの様々な情報を日々発信しています。当センターは、「濤沸湖 保全と利用のためのルール」の問い合わせ等の窓口となります。

ホームページ <http://www.tofutsu-ko.jp/>



【お問い合わせ】 濤沸湖水鳥・湿地センター

〒099-3112 北海道網走市宇北浜203番地3地先
TEL/FAX: 0152-46-2400
開館時間: 9時～17時
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

作成: 釧路自然環境事務所



濤沸湖エコツーリズム推進協議会



瀧沸湖 保全と利用のためのルール

「瀧沸湖 保全と利用のためのルール」は、素晴らしい自然を未来に残すとともに、漁業や農業等によりワイズユース(賢明な利用)を実践してきた方々と、観光利用する方々との望ましい共存を目的としています。

注意 瀧沸湖での活動は自己責任で

瀧沸湖及び周辺域には、ヒグマやスズメバチなどの危険な野生生物が生息しているほか、危険な場所もあります。散策に適した服装、装備を持ち、安全に配慮して活動しましょう。

ルール 1



湿原・樹林
エリア

湖岸部分の立ち入りは「瀧沸湖認定ガイド」同伴を！

「湿原・樹林エリア」は、様々な動物の繁殖場所、希少植物も生育しています。なかでも「重点保全エリア」(緑斜線部分)は特に重要で、通年保全を図るべき場所です。利用者は、悪影響を与える場所や時期を熟知した「瀧沸湖認定ガイド」*の同伴が必要です。ただし、「保全エリア」(赤斜線部分)については、7月～翌1月は「瀧沸湖認定ガイド」の同伴は不要です。

*「瀧沸湖認定ガイド」とは、「瀧沸湖 保全と利用のためのルール」の趣旨を理解し、瀧沸湖の自然環境の知識を有する者で、「瀧沸湖エコツアー推進協議会」が認定します。

希少な野鳥に配慮しましょう

「重点保全エリア」(緑斜線部分)では、タンチョウ(特別天然記念物)やオジロワシ(天然記念物)などが巣づくりをしている可能性があります。繁殖期に重要な2月～7月の立ち入りは極力避け、立ち入りの必要がある場合は、瀧沸湖水鳥・湿地センターにご相談ください。



エリアMAP



ルール 2



草原
エリア

野鳥や草花保護のため
足もとに注意！

「草原エリア」には美しい花々が見られ、また草原性の野鳥が繁殖場所として利用しています。小清水原生花園などの適切な施設以外の「草原エリア」で自然散策をする場合には、少人数での利用に留めましょう。また、野鳥の繁殖時期である4月～8月は、草原内に立ち入らないよう、配慮をお願いします。

ルール 3

湖面
エリア

ボートやカヌーを持ち込まない！



湖岸の野鳥の繁殖状況などの調査が不十分であることや、瀧沸湖が明治時代から漁場として利用されていることに配慮し、結氷期以外の湖面の利用はやめましょう。

ルール 4 農地や農道は立ち入り禁止！

農地や農道は私有地です。ほ場への病原菌侵入を防ぐためにも、立ち入りは基本的にご遠慮ください。

湖面
エリア

ルール 5 結氷湖面の利用は安全対策を！

湖面の氷は、場所により薄い部分があります。利用の際は氷の張りを確認し、ライフジャケットを着用してください。

● 瀧沸湖でエコツアーや自然観察会を開催したり、調査研究を実施する場合は、瀧沸湖水鳥・湿地センターに、事前の届出をしてください。

● 瀧沸湖周辺には私有地があります。立ち入りご遠慮ください。